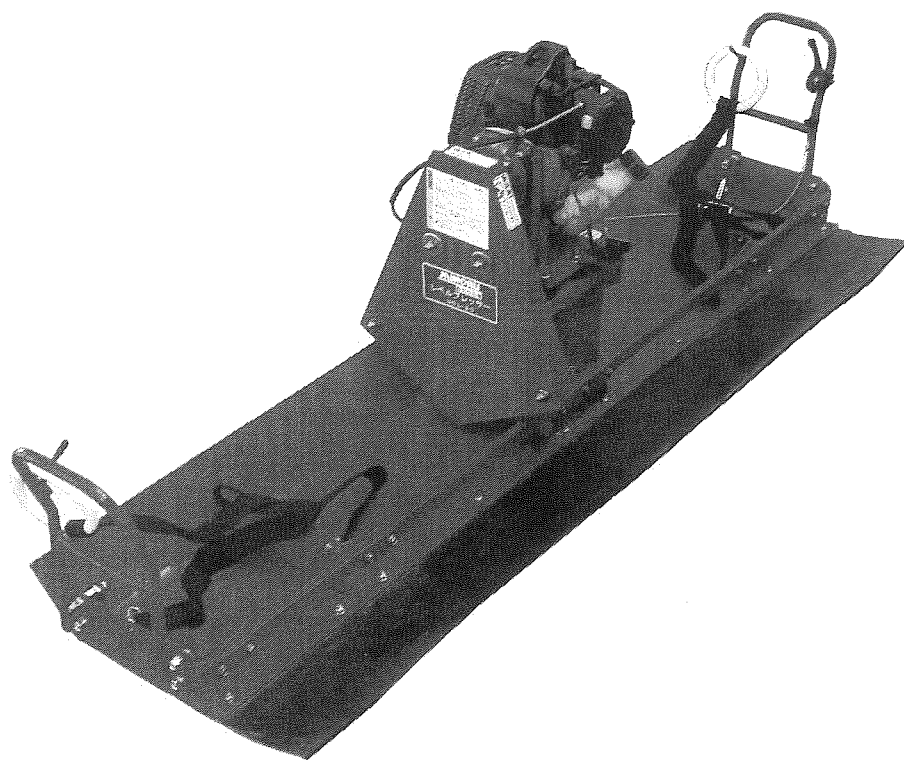


使用する前に必ずよく読んで正しく使いましょう

# みる 動力均平機

MOL-30【全幅 1.5m】

## 取扱説明書



みる産業株式会社

# 機械使用上の重要安全ポイント


1. 燃料を補給するときは、  
必ず **エンジンを停止** し、 **火気厳禁** とします。

2. 作業中は、  
**機械に手や足を近づけない** ようにします。

3. 補助者と共同作業をおこなうときは、  
**合図をし、安全を確認** します。

4. 機械を点検・調整するときは、  
必ず **エンジンを停止** します。





この機械をお使いになるときは復唱してください。

安全に作業していただくため、ぜひ守っていただきたい重要安全ポイントは上記の通りですが、これ以外にも本文の中で是非守っていただきたい事項に  を付けて説明しております。

よくお読みいただいて、必ず守っていただくようお願いいたします。

## はじめに

- この度は、みのる【動力均平機】をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- この【動力均平機】は、過酷条件で使用されるため、折衷苗代の使用に限ります。  
トラクター等で苗代を耕耘後、水を入れて床土を充分給水させた所を作業します。畑及び他の用途には絶対使用しないでください。怠ると機械が破損します。
- 本書は、【動力均平機】を使用する際に、是非守っていただきたい安全作業に関する基本的事項、並びに、【動力均平機】を適切な状態でご使用いただくための正しい運転・調整・整備に関する技術的事項を中心に構成しております。
- 【動力均平機】を初めて運転される時はもちろん、日頃の運転・点検・整備の前にも入念に読み内容を充分理解された上で、安全・確実な作業を心掛けてください。
- 本書は、【動力均平機】の付近に保管し、【動力均平機】を扱う全ての方が定期的に見るようにしてください。
- 本書を紛失または損傷した場合、および【動力均平機】に貼付けてある安全表示ラベルや銘板類を損傷した場合は、速やかに販売店に発注してください。
- 【動力均平機】を貸与または譲渡される場合は、【動力均平機】に貼付けてある安全表示ラベルや銘板を当初の状態にし、相手の方に取扱説明書の内容を充分理解していただき、この取扱説明書を【動力均平機】に添付してお渡しく下さい。
- 製品は不断の改良により、詳細において本書の内容と異なる場合が起こり得ます。不明な事柄については販売店へお問い合わせください。
- もし、ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお買い上げいただいた、販売店へご相談ください。
- 取扱説明書の中の  **重要** 表示は、下記のように安全上、取扱上の重要なことを示しております。よくお読みいただき、必ず守っていただくようお願いいたします。

表 示	重 要 度
 危険	その警告に従わなかった場合、死亡事故または重傷を負うことになるものを示しております。
 警告	その警告に従わなかった場合、死亡事故または重傷を負う危険性があるものを示しております。
 注意	その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れがあるものを示しております。
 <b>重 要</b>	商品の性能を発揮させるための注意事項を説明しております。よく読んで商品の性能を最大限発揮してご使用ください。

# 目次

<b>安全のポイント</b> .....	1
安全な作業をするために .....	1
安全表示ラベルについて .....	3
安全表示ラベル貼付位置 .....	3
<b>保証とサービスについて</b> .....	4
<b>各部の名称とはたらき</b> .....	5
各部の名称 .....	5
各部のはたらき .....	6
<b>作業前の点検</b> .....	7
運転前の点検箇所 .....	7
エンジンの始動と停止 .....	8
燃料と給油 .....	9
<b>作業のしかた</b> .....	11
ほ場の準備 .....	11
作業のしかた .....	12
作業が終了したら .....	13
<b>点検整備</b> .....	14
定期的な点検整備 .....	14
点検整備一覧表 .....	14
エアクリーナの清掃 .....	15
燃料フィルタの清掃・交換 .....	15
燃料ホースの点検・交換 .....	15
点火プラグの清掃 .....	16
スロットルワイヤーの点検 .....	16
<b>サービス資料</b> .....	17
主要諸元 .....	17
オプション部品一覧表 .....	17
<b>保証書</b> .....	18

# 安全のポイント

## 安全な作業をするために

本章では、機械を効率よく安全にお使いいただくために、必ず守っていただきたい事項を説明しております。十分に熟読されて、安全な作業を行なってください。

### ■ 作業者の条件

#### (1) はじめに

作業を始める前に、この『取扱説明書』をよく読むことから始めてください。これが安全に快適な作業を行うための第一歩です。

#### (2) 体調について

飲酒時や過労ぎみの時は、作業をしないでください。この様な時に作業を行うと、誤操作などで思わぬ事故を引き起こします。作業をする時は、必ず心身とも健康な状態で行ってください。

#### (3) 服装について

作業をする時は、作業に合わせた正しい服装をしてください。服装が悪いと、衣服が回転部等に巻き込まれたり、靴がスリップしたりして大変危険です。

#### (4) 人に機械を貸す時は

機械を貸す時は、取扱方法をよく説明し、使用前に『取扱説明書』を熟読する様に指導してください。借りた人が、機械の運転に不慣れなため、思わぬ事故を引き起こすことがあります。

### ■ 作業を開始する前に

#### (1) 無理のない作業計画で

無理・無駄のないゆとりある計画を立てましょう。無理な作業計画は、あせりなどから思わぬ事故を引き起こすことがあります。

#### (2) 安全カバー類の装着確認

機械を運転する前に、安全カバー類が外されたままになっていないか、確認しましょう。外れたまま作業を行うと危険な部分が露出して危険です。

#### (3) 燃料補給時は火気厳禁

燃料を補給する際は、エンジンを必ず停止し、くわえ煙草などは絶対にしないでください。機械の周りに火の気を近づけず、火気厳禁で行ってください。守らなかった場合、火災の原因になります。

#### (4) 作業前点検について

作業を開始する前には、各部の点検及び、給油・注油を必ず行ってください。特に、ワイヤーの作動確認及び、各軸受部への注油は忘れないでください。怠ると傷害事故の原因となり危険です。

### ■ エンジン始動時は

#### (1) 室内では十分に換気を

室内でエンジンを運転する時は、窓や戸を開け十分に換気を行ってください。換気が悪いと排気ガス中毒を起こし大変危険です。

#### (2) エンジンの始動は周囲を確認してから

エンジンを始動する時は、周囲の安全を十分に確認してください。守らなかった場合は、傷害事故の原因となり危険です。

### ■ 作業中は

#### (1) 作業中は周りの人に注意（特に子供）

作業中は、作業員以外の方は機械に近づかないでください。機械自体や、作業による飛散物等で、傷害事故を引き起こす恐れがあり危険です。

#### (2) 作業開始時は声をかけあって

作業を開始する時は、周囲の安全を十分確認してください。特に補助者と共に作業をする時は、声を掛け合って安全を確認してください。怠ると傷害事故の原因となり危険です。

### (3) 揺動部・回転部には手を触れない

作業中は、揺動部や回転部分及び、エンジン・マフラー等の過熱部などの危険な箇所には手や足を近づけないでください。守らなかった場合は、火傷や傷害事故の原因となり大変危険です。

### (4) 機械から離れる時は

機械から離れる時は、必ずエンジンを切ってください。怠ると思わぬ事故を引き起こすことがあります。

## ■ 点検・整備時は

### (1) 点検・整備は適正な工具で

点検・整備を行う時は、適正な工具を正しく使用してください。間に合わせの工具で行うと、調整中の事故や整備不良による思わぬ事故を引き起こす恐れがあり大変危険です。

### (2) 点検・整備はエンジンを止めて

点検・整備を行う時は、必ずエンジンを停止してから行ってください。これを怠るとケガをしたり、回転部などに手や衣服が巻き込まれて大変危険です。

### (3) 機械の改造は厳禁

指定以外のアタッチメントの取り付けや改造は、絶対にしないでください。機械の故障の原因になるばかりでなく、思わぬ事故の原因になり大変危険です。

### (4) カバー類は元通りに

点検・整備で取り外した安全カバー類は、必ず元の通りに取り付けてください。外したままで使用しますと、回転部や過熱部がむき出しになり、傷害事故の原因となり大変危険です。

### (5) 過熱部は冷めてから

エンジンを切ったすぐには、点検・整備をしないでください。エンジン・排気管等の過熱部が完全に冷えてから行ってください。怠ると火傷などの原因になり危険です。

## ■ 電気配線点検時の注意

(1) 電気配線の点検は、必ずエンジンを停止して行ってください。エンジンをかけた状態での点検は、手や衣類が回転部に巻き込まれたりして大変危険です。

(2) 配線の端子や接続部のゆるみ、及び配線の損傷は電気部品の性能を損なうだけでなく、ショート(短絡)の原因となり火災事故になる恐れがあり大変危険です。傷んだ配線は、早めに交換・修理してください。

## ■ 格納・保管時は

### (1) カバーは機械が冷えてから

作業が終了してシートカバー等を機械に掛ける時は、加熱部分が完全に冷えてから行ってください。熱いうちにカバー類を掛けると、火災の原因となり大変危険です。

### (2) 燃料の抜き取り

長期格納する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取ってください。燃料が変質しエンジンの故障の原因になるばかりでなく、引火などで火災の原因となり大変危険です。

### (3) 格納・保管は明るく広い所に

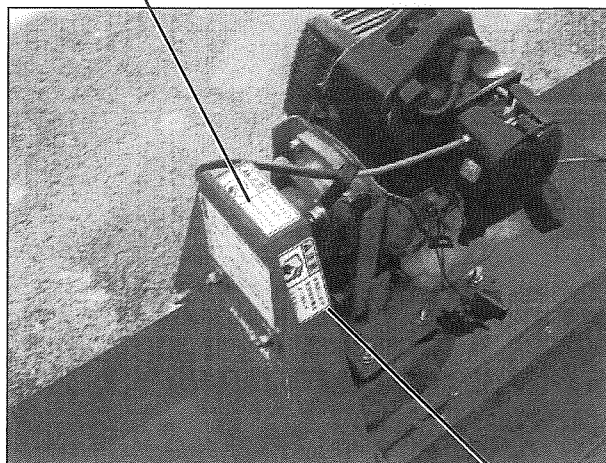
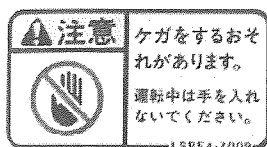
格納・保管場所は、明るく広い所にしてください。暗く狭い所に保管していると、思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。

## 安全表示ラベルについて

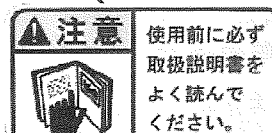
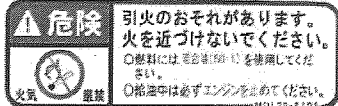
- 本機には、安全に作業していただくために、安全表示ラベルを貼付しております。必ずよく読んで、これらの注意に従ってください。
- 安全表示ラベルが破損・紛失した場合は、新しいラベルに貼り替えてください。
- 汚れた場合は、きれいに拭き取り、いつでも読めるようにしてください。
- 安全表示ラベルが貼付してある部品を交換する場合は、同時に安全表示ラベルもお買い上げいただいた購入先に発注してください。

## 安全表示ラベル貼付位置

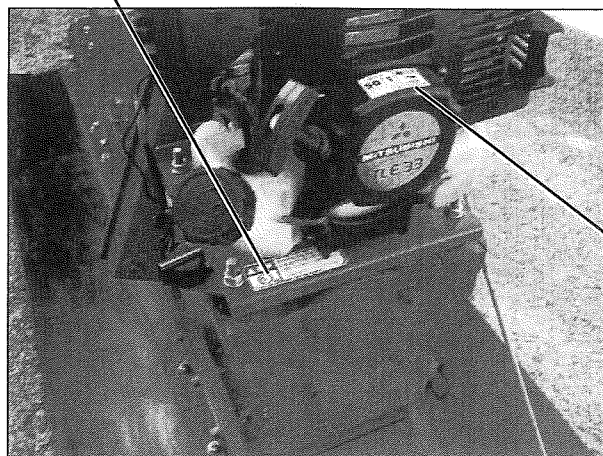
LSPE4-7009 (作動部警告マーク)



MOL30-8105 (火気厳禁警告マーク)



D2-6113 (取説注意マーク)



MI-KW56356AA

(使用燃料・高温注意ラベル)

# 保証とサービスについて

## ■ 商品の保証

この商品の保証書は、取扱説明書(P18・19【保証書】参照)に入っています。詳しくは保証書の項目をご覧ください。

## ■ サービスネット

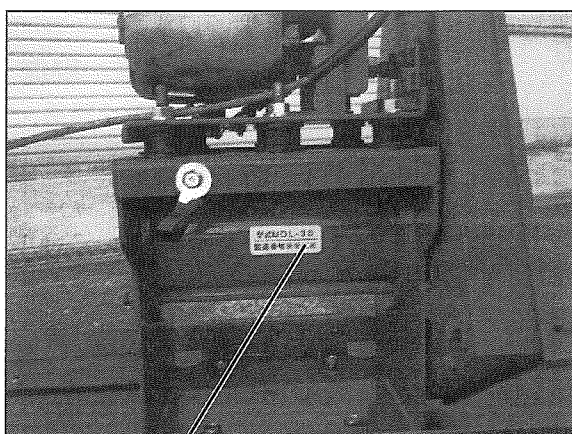
ご使用中の故障やご不審な点およびサービスに関するご用命は、お買い上げいただいた購入先へお気軽にご相談ください。

その際、

(1) 販売型式

(2) 製造番号

を併せてご連絡ください。



型式マーク

(型式マーク)

型式 M O L - 3 0

製造番号 ※※※※※

## ■ 補修用部品供給年限について

この商品の補修用部品の供給年限(期間)は、製造打切り後 9 年といたします。  
ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては納期等についてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

# 各部の名称とはたらき

## 各部の名称

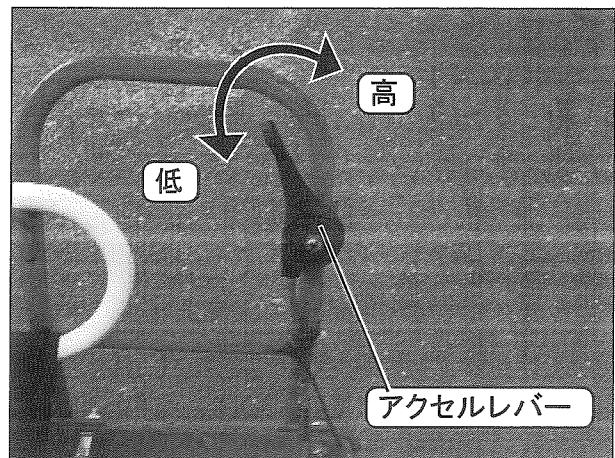


## 各部のはたらき

### ■ アクセルレバー

「低」…… 機械が止まります。

「高」…… 機械が動き出します。



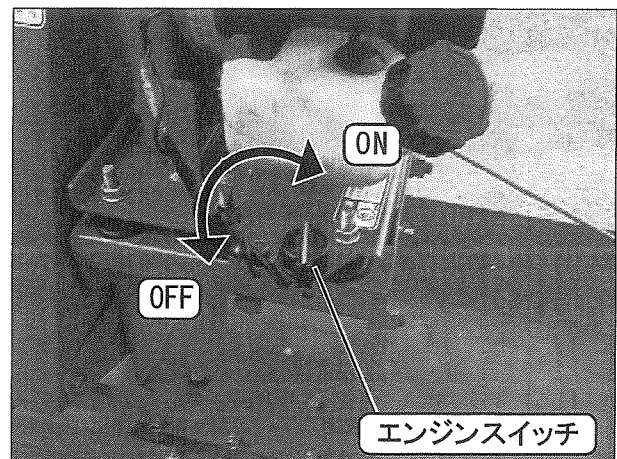
### ■ エンジンスイッチ

「ON」…… エンジン始動が可能です。

「OFF」…… エンジンが停止します。

#### 注意

エンジン停止の際は、確実に「OFF」の位置にしてください。  
機械から離れる場合は、必ずエンジンを停止しておいてください。



# 作業前の点検

故障を未然に防ぐには、均平機の状態をいつもよく知っておくことが大切です。  
始業点検は毎日欠かさず行なってください。



## 警告

給油及び点検整備をする時は、次のことを守ってください。

- (1) 均平機を平坦な広い場所に置く。
- (2) エンジンを停止する。
- (3) エンジンなどの過熱部分を十分冷やす。
- (4) くわえタバコなど火気厳禁。

以上の安全を確認して行なってください。

安全を確認せずに点検整備すると傷害事故を引き起こすことがあります。

## 運転前の点検箇所

ここを	点検内容	処理方法
外観	外観上の損傷・磨耗・緩みはありませんか？	増し締めします
ボルト・ナット類	脱落・緩んでいませんか？	部品交換します
エアークリーナ	中のクリーナエレメントが汚れていませんか？	清掃します
燃料タンク	燃料が入っていますか？ 燃料タンクキャップが緩んでいませんか？	補給します 締めます
アクセルレバー	レバーの作動はよいですか？ スムーズに操作できますか？	調整又は部品交換します
エンジンスイッチ	エンジンの始動・停止ができますか？	部品交換します

### ■ 補修部品について

本作業機は、補修用性能部品をお使いください。

補修用性能部品とは、製品の機能を維持する為に必要な部品です。

それ以外の部品をお使いになると、故障や事故の危険が増すことになります。

本作業機の改造などは大変危険ですので絶対に行わないでください。

本作業機に補修用性能部品を取付けた事による事故又は事故による損害に対しては、一切の責任を負いかねます。

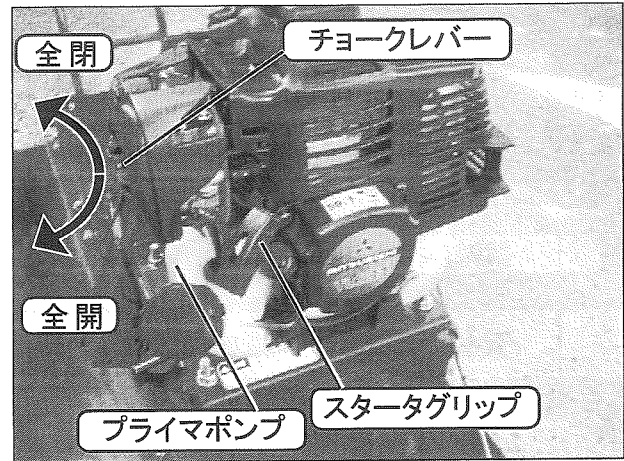
## エンジンの始動と停止

### 重要

同梱されている付属のエンジン取扱説明書を十分お読みいただき、よく理解してから安全に作業してください。

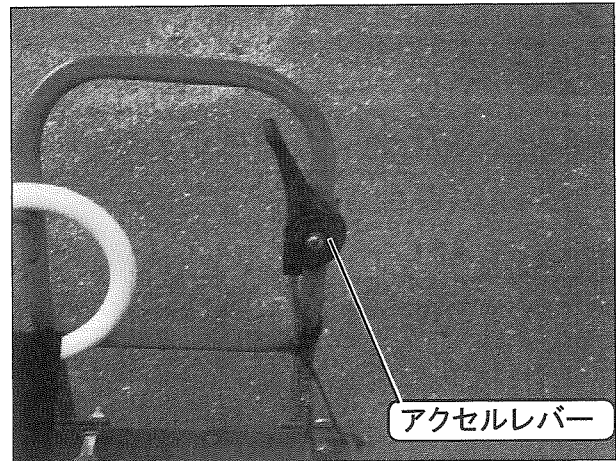
### ■ エンジンを始動する前に

- 運転に入る前に必ず『運転前の点検箇所』に従い点検を行なってください。
- 周囲の安全を確かめてから作業に入ってください。
- エンジン等に異常があった時は、直ちにエンジンスイッチを「OFF」にし、エンジンを停止させて点検を行なってください。



### ■ 始動のしかた

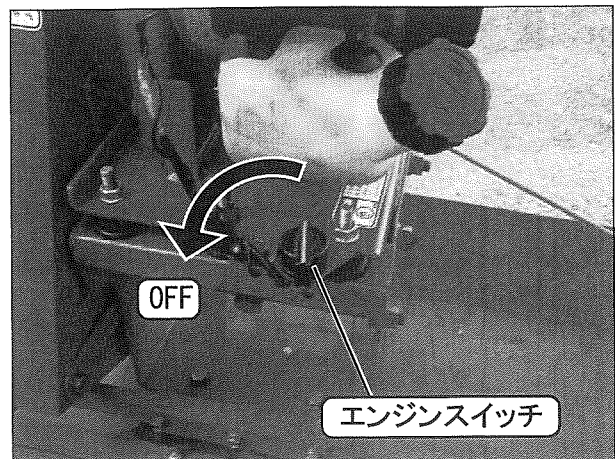
- ① エンジンスイッチを「ON」の位置にします。  
(P.6【エンジンスイッチ】参照)
- ② アクセルレバーを「低」と「高」の中間にします。  
(P.6【アクセルレバー】参照)
- ③ プライマポンプを7～10回押してください。
- ④ チョークレバーを全閉位置にします。エンジンが温まっている時は、全開位置にします。
- ⑤ 本機を保持し、リコイルスタータグリップを握り勢い良く引っ張ります。
- ⑥ 始動後エンジンの調子を見ながら徐々にチョークレバーを全開位置にしてください。再始動（エンジンの温かい時）は、チョークレバーを全開位置で行ってください。



### ■ 停止のしかた

エンジンスイッチを「OFF」にして停止させてください。

(P.6【エンジンスイッチ】参照)



## 燃料と給油

### ⚠ 危険

- 燃料の取扱いには、最善の注意が必要です。
- 火気厳禁、特に給油中や作業中の作業機の近くでの喫煙は、引火の危険があります。
- 燃料は法令で定められたガソリン専用容器に入れ、火気の無い安全な場所に保管してください。

### ⚠ 注意

- 燃料が目に入った場合、直ちに真水で洗い、なお不快感が消えない時は、専門医に相談してください。

### ■ 燃料

- 本作業機は、2サイクルエンジンが搭載されています。燃料は普通の自動車用レギュラーガソリンに2サイクル専用オイルを混合した混合油を使用します。

混合比＝ガソリンオイル：2サイクル専用オイル(JASO FC級またはISO-L-EGC級)  
(容積比) 50：1

- 変質した燃料・誤った混合比の燃料は使用しないでください。特に混合比が25:1の混合油を長時間使用すると、プラグ汚損やピストンリング固着が早くなり、マフラー部からのオイル飛散量・黒煙が通常より大幅に増えますので、エンジンの故障・運転不調の原因となります。
- 2サイクル専用オイル以外のオイルは絶対に使用しないでください。ピストンリングの固着等エンジンの故障の原因となります。

### ■ 給油

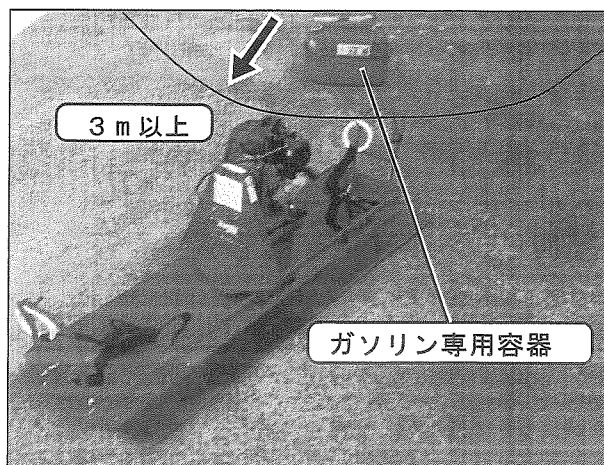
### ⚠ 警告

- (1)燃料を補給する時は、エンジンを停止し過熱部分が充分冷えてから行なってください。燃料のつぎこぼしなどにより火災の原因になり大変危険です。
- (2)燃料をつぎこぼした時は、きれいに拭き取ってください。エンジンを始動する時、引火し火災の原因となり大変危険です。



**重要**

- 給油は換気のある場所か屋外で行なってください。
- 燃料タンクキャップの周りをよく拭き、異物がタンク内に入るのを防止してください。
- 燃料タンクキャップを開ける時、燃料タンク内の圧力が高くなっており燃料が吹き出す事があります。ゆっくり注意しながら開けてください。
- 燃料の保管は樹脂製タンクではなく、市販のガソリン専用容器を使ってください。これを怠ると燃料が変質し、エンジン不調の原因となります。
- 燃料はタンクの9割程度入れてください。一杯まで入れますと吹きこぼれや始動困難の原因となります。
- 燃料タンクキャップは燃料が漏れないように確実に締めてください。
- 給油後は、ガソリン専用容器を作業機より3m以上移動してから、エンジンの始動を行なってください。



# 作業のしかた

本作業機の特性をよく知って、それにできるだけ合わせたほ場の準備をしていただくことが大切です。

悪条件のほ場では、床面が均平にならなかったり、作業機の早期破損の原因となります。

## ほ場の準備

### ■ 折衷苗代作り

①苗代地をトラクターで2回全面耕耘します。

#### 重要

- 土質にもよりますが土塊を握り拳以下にしてください。

②足跡を目印に管理機などで溝あげを行います。

③畝の完成。

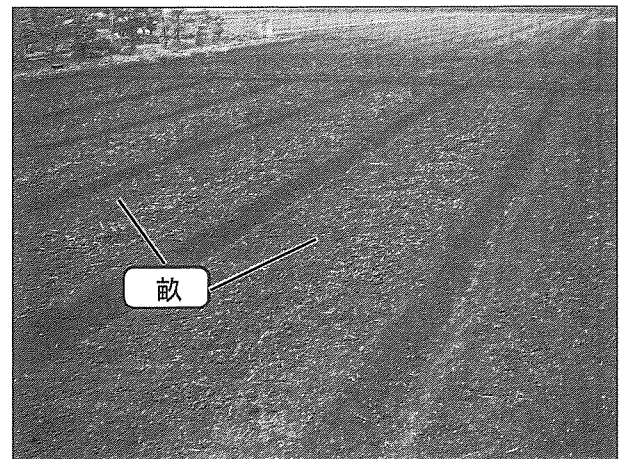
#### 重要

- 高低が目立つ箇所・気になる箇所は、ある程度平にしておきます。

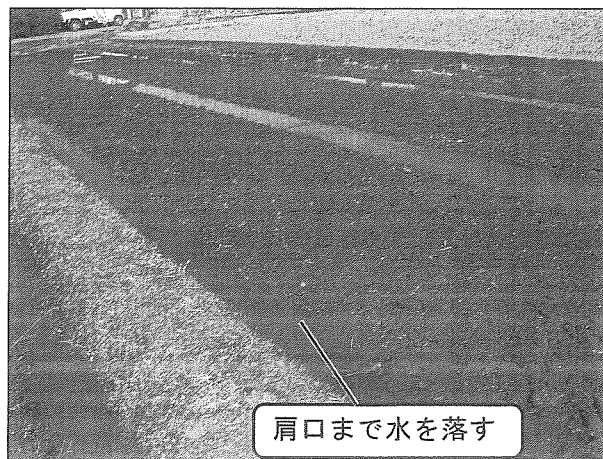
④水を張ります。苗代の上面が見えなくなるまで入水してください。

#### 重要

- 最低箱並べ1日前には水を張り、十分苗代に給水させてください。十分給水されていないと仕上げがきれいにならない事があります。



- ⑤箱並べの直前に落水し、肩口以下まで水を落とします。



## 作業のしかた

作業機にて苗代作り作業を行ないます。

- ①作業機を安定した場所に置き、エンジンを始動してください。(P8【始動のしかた】参照)
- ②アクセルレバーを徐々に「高」側にすると、作業機が高速で上下動を始めます。
- ③ベルトの先のリングを持ち、前方へゆっくり進みます。
- ④作業を中断、終了した時は、必ずエンジンを停止してください。



### 重要

- 作業機はゆっくり引っ張り、均一に仕上げてください。
- 細かい碎土の苗代で2度作業機を掛けると振動で低い箇所ができ、水溜り状態になり出芽不良の恐れがあるので、1度掛けとしてください。
- 床面の給水が不十分で、きれいな仕上げができない場合、手杓などで給水しながら作業を行なってください。
- 本機は過酷条件で使用されるため、折衷苗代の使用に限ります。  
畑での使用は、絶対にしないでください。  
怠ると、機械が破損します。



※牽引パイプ(OP)を取付けて使用

 **注意**

- アクセルレバーを急に「高」側にしないでください。  
これを守らないと機械が急に動き出し、傷害事故を引き起こす恐れがあり大変危険です。
- エンジン回転は、初期設定値以上に上げないでください。
- 試運転時、本機の振動が不十分な場合がありますので、必ず暖機運転を行なってください。

---

## 作業が終了したら

---

 **注意**

点検する時は、必ずエンジンを停止させ、エンジンが冷えたのを確認してから行ってください。

- 各部の点検を行ない、必要に応じて調整してください。
- 長時間使用しない時は、不具合箇所は整備してください。
- 機械を長期にわたり保管する時は、機械が十分冷えてから燃料タンク内の全ての燃料を抜き取ってください。
- 長時間使用しない時は、スパークプラグを外しその孔へオイル数滴垂らしリコイルスタータを軽く引き、エンジン内に十分オイルを塗布してからスパークプラグを締めてください。
- 各部の汚れを良く拭き取り、湿気のない場所で動き出したり転等したりしない状態で安全に保管してください。

# 点検整備

## 定期的な点検整備



### 警告

点検整備をする時は、次のことを守ってください。

- (1) 平坦な広い場所に置く。
- (2) エンジンを停止する。
- (3) エンジンなどの過熱部を十分冷やす。
- (4) 適正な工具や器具を使用する。
- (5) カバー類はきちんと元通りに取付ける。

安全を確認しないで点検整備を行うと傷害事故を引き起こす恐れがあります。

### ■ 点検整備一覧表

○点検 △清掃 ×調整・交換

点検・調整・給油項目		点検時期			備考
		毎日	10時間	50時間	
エンジン部	エアークリーナの清掃		△		
	燃料フィルタの清掃・交換		○	△	フィルタのつまり・汚れ・破損確認
	燃料ホースの点検・交換		○	×	
	点火プラグの清掃		○	△	
操作・駆動部	スロットルワイヤーの点検	○			
	フレーム/均し板の点検			○	ヒビ・割れの確認
	ユニットAYの点検			○	オイル漏れ・異音の有無の確認
	ユニットAYオイルの補給		○		ギヤーオイル#90 約0.2L

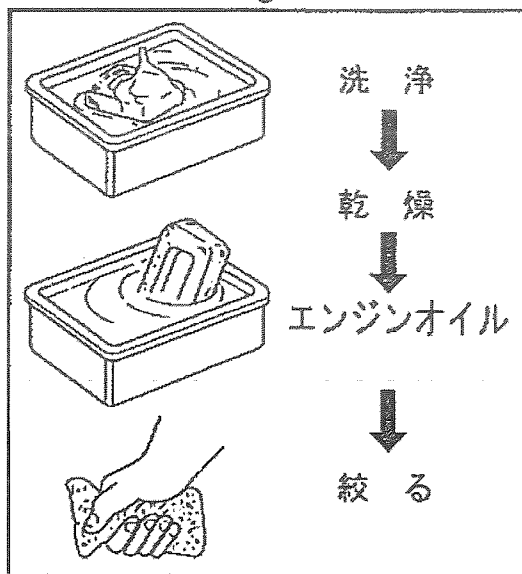
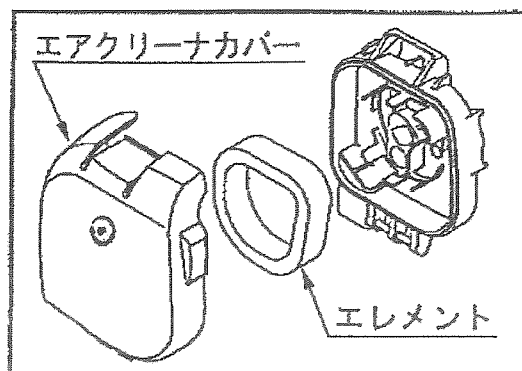
油脂類を投棄・焼却する等、みだりに処分しますと水質汚濁、土壌汚染、大気汚染につながりますので購入先又は、ガソリンスタンドにご相談ください。

## ■ エアクリーナの清掃

- (1) エアクリーナの汚れがひどくなると、エンジンの始動が困難になったり、エンジンの回転が上がらない場合が発生するばかりでなく、エンジンの寿命を極端に短くします。
- (2) エアクリーナカバーを開きます。  
エレメントを取外し、劣化していない事を確認します。エレメントが劣化している場合は交換してください。
- (3) エレメントを白灯油で洗浄後、エンジンオイルに浸し、片手で固く絞ってから取付けてください。

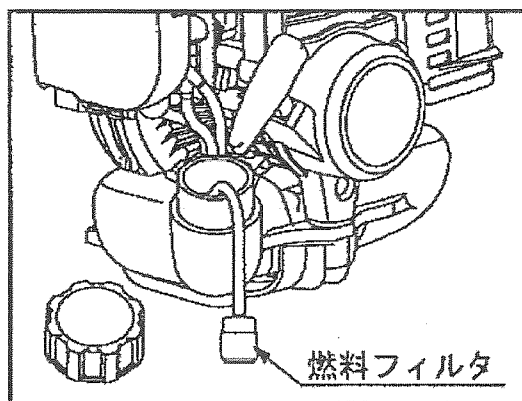
### ⚠ 注意

エアクリーナの清掃を行なう時は、必ずエンジンを停止して行なってください。



## ■ 燃料フィルタの清掃・交換

燃料タンク内の燃料パイプ先端に付いている燃料フィルタをパイプから引き抜き、洗浄します。尚、汚れがひどいものに関しては、交換してください。

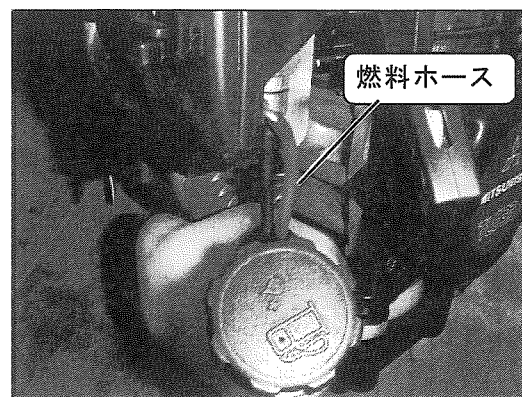


## ■ 燃料ホースの点検・交換

燃料ホースなどのゴム製品は、使わなくても老化する消耗部品です。締付けバンドとともに1年毎または傷んだ時に交換してください。ホース類や締付けバンドが傷んでないか、常に注意してください。

### ⚠ 警告

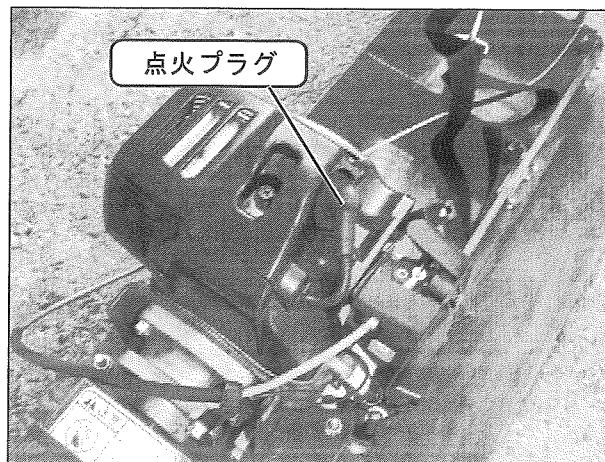
燃料ホースが破損していると燃料もれを起こしますので、必ず点検してください。



## ■ 点火プラグの清掃

エンジンの調子が悪い場合、点火プラグを点検してください。点火プラグはカーボンなどで汚れやすいので、時々清掃してください。

- (1) 市販のプラグレンチ(対辺 19mm)で点火プラグを取り外します。
- (2) 点火プラグに付着しているカーボンを取り除きます。
- (3) 電極間は 0.6 ~ 0.7mm が標準です。



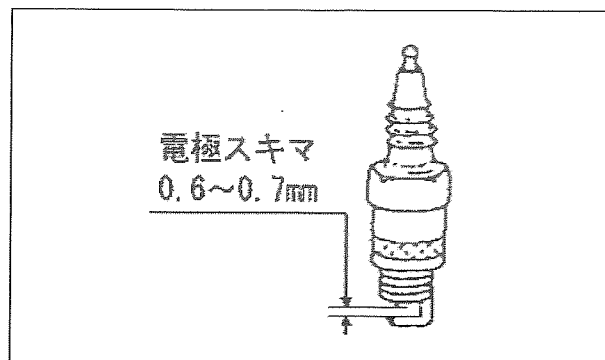
### 重要

- 使用点火プラグ . . . BPMR8Y(NGK)

#### ⚠ 注意

点火プラグの清掃を行う時は、必ずエンジンを停止しエンジンが冷えてから行なってください。

- ・ 付属品箱に、本機エンジンのプラグレンチは入っていません。市販のプラグレンチを購入してください。

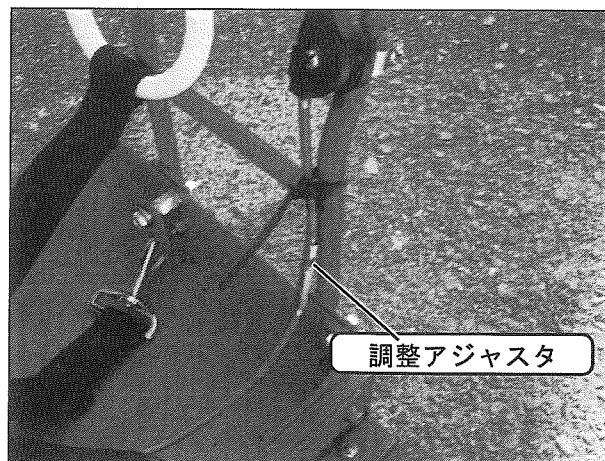


## ■ スロットルワイヤーの点検

正常に回転の上げ下げが出来るかを確認します。

#### ⚠ 注意

スロットルワイヤーの調整をする時は、必ずエンジンを停止してください。怠ると急回転することがあります。



# サービス資料

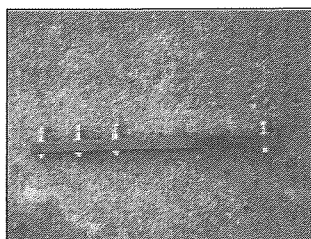
## 主要諸元

名称		みづる 動力均平機
型式		MOL-30
機体寸法	全長 (mm)	430 (均し板含む)
	全幅 (mm)	1645 (ハンドル取付時)
	全高 (mm)	520
重量 (kg)		36
エンジン	種類	空冷2サイクル三菱エンジン
	型式	三菱TLE33FA
	総排気量 (cc)	32.6
	出力/回転数 (Ps/rpm)	1.32 (0.97) 7,000
	使用燃料	潤滑油混合ガソリン (混合比50:1)
	燃料タンク容量 (ℓ)	0.8
	始動方式	リコイルスタータ式
付属品		<ul style="list-style-type: none"> <li>・取扱説明書(本書・エンジン)・安全運転説明確認票:各1部</li> <li>・抜きポンプ1個 ・連結バンド×2</li> </ul> ※保証書は本機取扱説明書(P18・19【保証書】参照)内に入っています。

## オプション部品一覧表

オプションとして、下記のものを準備していますので、必要に応じてご購入の上ご利用ください。

ご購入に当たっては、販売店にご相談の上、ご使用ください。なお、取付は必ず販売店で行なってください。



- ・牽引アーム AY (MOL30-9100) 2ヶ
- ※ほ場が軟らかく、泥押しする場合に使用します。

### ■ 純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買い求めください。市販類似部品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

# 保証書

# 書

弊社はおお客様の正常なご使用状態で、万一故障した場合には、本保証書記載内容により保証をいたします。

## 1、保証内容

保証期間内において本機に製造、組立、材料上の欠陥により故障を生じ、故障発生後1か月以内にお申し出があり、弊社がこれを認めた場合に、弊社またはお買い上げの販売店において無償で修理いたします。

なお、この際に取り外した不具合部品は、弊社の所有となります。

## 2、保証期間

保証期間は次の通りです。

●本機は振動を起こして作業する機械のため、他の農業機械より使用条件が非常に厳しく、一部部品については保証期間内であっても保証対象外とさせて頂きます。

区分	保証期間	対象部品
一般保証	本機のお買い上げ日より1年。	本機を構成する全部品。 但し、消耗部品及び油脂類は除く。

## 3、保証しない事項

(1)保証期間内といえども以下の場合には保証修理いたしません。

① 取扱説明書に示す正しい取扱・使用条件によらない使い方、過失および整備保管の不備によって生じたと認められる故障の場合。

【正しい取扱・使用条件とは】

- ・ 折衷苗代(床土を十分吸水させた状態)での使用。
- ・ 畑作圃場では使用できません。
- ・ 回転数6500rpm (出荷条件)での使用。
- ・ 指定燃料での使用。

② 地震、台風、水害などの天災ならびに火災および事故によって生じたと認められる故障の場合。

③ 弊社が認めない改造変更が原因で故障した場合または弊社の純正部品、定められたアタッチメント以外のものを使用したために生じたと認められる故障の場合。

④ お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障および損傷。

⑤ 使用損耗や経年変化により発生する現象。(消耗部品、油脂類の消耗・劣化、内装部品、樹脂部品・塗装面・メッキ面等の自然退色・劣化等)

【裏面参照】

⑥ 弊社規格内の本機の機能に影響がないことが一般に認められている現象など。(音、振動、オイルのにじみ、オイル消費量、エンジン排気色、外觀上の軽微な瑕疵、操作フィーリング等)

⑦ ご購入の販売店以外で修理されて故障した場合。

⑧ 保証書の提示がない場合。

(2)次に示す費用は負担いたしません。

- ① 消耗部品および油脂類の交換補充費用。
- ② 本機を使用できなかつたことによる機械損失等。
- ③ この保証書に示す以外の費用・補修など。

## 4、保証の有効

この保証書は、お買い上げいただいた販売店が機械の型式、製造番号、保証開始日(納品日)、販売店名等の必要事項を記入捺印することにより有効となります。

本保証書は、日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

## 5、保証書の再発行

保証書を紛失した場合は再発行いたしません。

以上



Jyofur 産業株式会社

〒709-0892 岡山県赤磐市下市447

販売店住所  
店名 \_\_\_\_\_ 印  
TEL \_\_\_\_\_

修理年月日	修理内容	点検印

名称 \_\_\_\_\_ 型式 \_\_\_\_\_  
 保証期間 1か年  
 お買い上げ日 \_\_\_\_\_ 年 月 日  
 お客様  
 ご住所 \_\_\_\_\_  
 〒 □□□□-□□□□ TEL \_\_\_\_\_  
 ご芳名 \_\_\_\_\_ 様

**保証対象外部品一覧**

下記項目(内容)は、保証期間内であっても保証対象外です。※その他の部品は、一般保証になります。

消耗部品他	油脂類
<ul style="list-style-type: none"> <li>● Vベルト</li> <li>● 牽引ベルト</li> <li>● オイルシール、Oリング</li> <li>● パッキン、ガスケット</li> <li>● ゴム類(防振ゴム、燃料ホース)</li> <li>● 点火プラグ</li> <li>● エアクリーナエレメント</li> <li>● 燃料フィルタ</li> <li>● 合成樹脂類(カバ)</li> <li>● 標準部品類 (ボルト、ナット、座金)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 燃料 (ガソリン・混合ガソリン)</li> <li>● 各種グリス</li> <li>● #90 ギヤオイル(ユニットAY)</li> </ul>



## みのる産業株式会社

本社工場 〒709-0892 岡山県赤磐市下市 447

東京支店 〒337-0042 埼玉県さいたま市見沼区南中野 210

長野営業所 〒389-1104 長野県長野市豊野町浅野 582-4

徳島営業所 〒771-1151 徳島県徳島市応神町古川字東 197

九州支店 〒818-0066 福岡県筑紫野市大字永岡 1020-1

TEL(086)955-1123(代) FAX(0869)55-5520

TEL(048)683-9451(代) FAX(048)683-9452

TEL(026)257-6530(代) FAX(026)257-6531

TEL(088)641-2311(代) FAX(088)641-2324

TEL(092)921-6006(代) FAX(092)921-6008

ホームページ <https://www.minoru-sangyo.co.jp>